

平成27年度

小高区小学校（小高・福浦・金房・鳩原小学校）学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 西 美登里

1 学校図書館の概要

学校の紹介

小高区小学校4校合同図書館は、小高小学校、福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校の4校が利用する。4校は原発事故避難指示区域に位置する為、鹿島中学校敷地内仮設校舎1階に小高小学校が単独で、2階に福浦・金房・鳩原の3小学校が合同で学んでいる。支援員の派遣は4年目になる。25年度に仮設東校舎が増築され、そこに設置された学校図書館は3年目である。

平成27年度児童数（平成27年12月末時点）

小高小学校

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
8名	7名	14名	12名	14名	15名	70名

福浦・金房・鳩原小学校

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
8名	4名	7名	11名	17名	17名	64名

学校派遣日数 4校あわせて 週5回

図書担当教員 小高小 大和田ひろみ先生 福浦小 高橋美智子先生
金房小 黒田裕子先生 鳩原小 鈴木玲子先生

学校図書館蔵書数（4月当初） 6,428冊

学校図書館受入冊数（3月末時点） 1,483冊

うち 市費購入冊数及び金額 計502冊

小高小 152冊（247,742円） 福浦小 108冊（185,750円）

金房小 117冊（185,809円） 鳩原小 125冊（185,778円）

うち 杉並文庫購入冊数 計641冊

小高小171冊 福浦小169冊 金房小145冊 鳩原小156冊

（3年間で 小高小557冊 福浦小573冊 金房小543冊 鳩原小528冊）

うち 寄贈資料冊数 340冊

2 平成27年度の課題及び目標

課題① 図書館の利用法はだいたい周知されたが、参考図書の利用、選択に戸惑う児童が多く、調べ学習時の時間のロスにつながっている。

課題② 図書館の利用格差が大きく、利用しない児童への働きかけが必要である。

目標① 教員と協力して参考図書等の活用法の指導をし、調べ学習の基礎づくりをする。

目標② 年間で低学年30冊、中学年20冊、高学年10冊、学年にみあった本を読むことを目標とし、読書力の低い児童へも配慮する。

3 活動の方針

学校経営グランドデザインおよび平成27年度図書館教育計画に沿って、児童の読書環境の充実を図る。

4校の先生方と話し合った結果、貸出は4月授業開始と同時、一人2冊まで一週間の貸出とし、図書委員会活動は小高小と3校の交代制とした。また、読書週間等の行事は小高小・3校それぞれで実施するが、学校図書館行事は4校合同での実施とする。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・予算検討と管理の確認 ・担当教諭との打合せ ・貸出開始 ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） ・図書館利用案内、分類説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の貸出準備 ・図書委員 オリエンテーション ・貸出担当 火・木 小高小 月・水・金 3校 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回学校図書館支援会議
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） ・杉並文庫選書、受入、登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年への読み聞かせの為に練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回学校図書館支援会議 ・図書の借用開始
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） ・杉並文庫選書、受入、登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年への読み聞かせ ・ポスター作り 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） ・夏休み特別貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内学校図書館見学対応
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期統計 ・市図書費選書 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回学校図書館支援会議
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） ・市図書費選書、受入、登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年への読み聞かせ 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） ・市図書費選書、受入、登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の整理 ・3校読書週間多読賞準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回学校図書館支援会議
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） ・市立図書館見学対応 ・読書月間 	<ul style="list-style-type: none"> ・小高小読書月間 多読賞準備 ・各学年への読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・4校2年生市立図書館見学
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） ・冬休み特別貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回学校図書館支援会議
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター作り 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回学校図書館支援会議
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより発行 ・昼放送読み聞かせ（金曜日） ・年度末統計 	<ul style="list-style-type: none"> ・未返却本の回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回学校図書館支援会議

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

4月

- ・先生方へ学校図書館・支援員の利用案内配布
- ・学級文庫配置

*企画・図書室を楽しもうキャンペーン

学校図書館利用頻度の低い児童に楽しさを味わってもらい、抵抗感をなくそうと企画する。

本を借りるごとにしおり1枚、しおり3枚で抽選券1枚を配布。抽選で雑誌付録のポスターや特製しおりをプレゼントする。

《実施期間14日～28日》5月1日4校図書委員が抽選

成果…前年比17.6% 今まであまり来館していなかった児童が多数来館

- 15日 3校2年分類授業 17日 小高小2年分類授業 21日 3校4年分類授業
24日 小高小4年分類授業

昨年度の多読賞上位者はアニメもチェックしています



5月

- ・配架図掲示、分類案内板更新
- ・ボランティアによる“おはなしのへや”

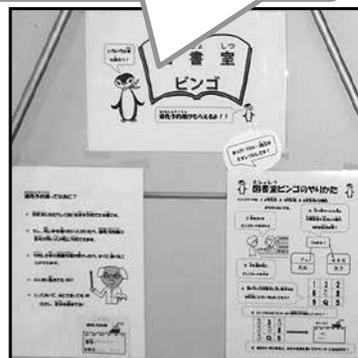
図書室ビンゴの説明を廊下に掲示

6月

*企画・図書室ビンゴ

《実施期間6月16日～7月9日》

国語科での分類授業もあり、本の背ラベルに興味を示す児童も出てきた。そこで、分類番号を使用したビンゴカードを使い、いろいろな本に触れる機会を増やし、本の分類を知るとともに調べ学習への導入としたいと企画する。借りた本の背ラベル（分類番号）の一桁め（左端）の数字を確認し、カードにスタンプを押す（貸し出し担当図書委員）。スタンプが3こ揃ったら1ビンゴ。2ビンゴでクリアとなり新入荷本の優先予約券と交換できる。新入荷予定一覧表をビンゴ説明の脇に掲示し、児童が一覧表を見て優先予約券に記入し、入荷・登録処理ができ次第貸出した。



《成果》

初めての企画であり、貸出数が前年比154%（6月のみでは170%）。ビンゴ達成にはいろいろなジャンルの本、学年に応じた本の選択が必要だった為、ふだんは足を向けられない書架に行き、悩みながら選書していた。この後に授業で調べ学習をした際、5類（工業・環境等）・6類（産業）の書架にスムーズに移動していた。

予約され、登録を待つ本



5日 小高小2年ブックトーク “がまくんとかえるくん、いろいろなおはなし”



担任が教科書の要旨を掲示した後にお話を紹介

ブックトーク後、並行読書用に担任が教室にコーナーを設置



10日 3校5年ブックトーク “伝統工芸について”

ブックトーク後、3校は本の帯を、小高小はPOPを作ったので、国語単元“千年の釘にいどむ”とのコラボ企画として図書室に4校の5年生の作品を展示した。

図書室内での展示
他学年の児童も興味を示した



3校の5年児童が、
帯を作った本を
小高小5年児童に
紹介



16日3校5年国語研究授業見学

22日小高小6年ブックトーク“イースター島と世界の環境”

国語単元“イースター島にはなぜ森林がないのか”において担任が“未来プロジェクト～環境編”と銘打ち授業を進めるにあたり、環境関連のブックトーク依頼を受け実施した。



並行読書用に担任が教室内にコーナー設置。世界地図が有効活用された。

7月

・本校舎立ち入り

3日3校3年図書館利用案内・分類

15日3校5年百科事典の使い方 調べ学習へ向けて1時限45分



グループごとにポプラディアを1セット配置



担任の先生が要所・要所で板書

百科事典で調べて気づいた事あるかな？



23日市内小学校図書館見学対応

30日福島県読書活動支援者育成事業人材育成基礎研修にて事例発表

8月

6日杉並区担当者来館対応

*小高小本校舎蔵書除籍作業11,977冊

震災、原発事故により、全除籍と決定した為。

9月

10日小高小1年ブックトーク“いきものかくれんぼ”

国語単元“うみのかくれんぼ”図鑑以外の図書を紹介。



1年生も並行読書用コーナー

10月

5日小高小5年ブックトーク“世界と日本の違い～データやグラフを見てみよう”

国語単元“天気を予想する” 説明文に表や数値があることによる効果を実感させたいとの依頼があり、識字率や進学率、上下水道の普及率がわかりやすく示される図書の紹介をした。

6日小高小3年企画説明

*3年生国語単元“すがたを変える大豆”との
コラボ企画『大豆の変身クイズ』

豆の現物と吸水の前後を展示し、全児童対象にクイズを実施。授業と連動した為、3年担任と相談して教室に提供した参考図書を児童が興味を持って手に取り、有効活用できたとのことであった。



図書室廊下に展示
他学年も興味津々

11月

*読書月間企画『本を読んでポイントをためよう』

《実施期間》11月4日～27日

絵本・やさしいおはなし・0～8類は1ポイント、物語2ポイント、物語で200ページを超える厚いもの3ポイントとし、15ポイントでお楽しみシール付しおりプレゼント。

《成果》前年比147% 小高小223% 3校127%

ポイントを3段階にしたことにより、不公平感なく個々の読書力にあった図書を選び、また友達同士面白い本を薦め合って読み進んでいた。



掲示とポイントの説明
まずは廊下で興味をひきます。



楽しみは選ぶところから。
カード、しおりとも何種類か作った。



担任が並行読書用図書と共にブックトークの様子も掲示

19日小高小4年ブックトーク“新美南吉の世界”

物語の舞台の時代に使用された道具の図書も紹介

26日4校2年生中央図書館見学対応

12月

3日3校1年アニメーション“もりのなか”

担任より本と親しむためのアニメーション（図書をゲームとして楽しみ、読解力、表現力を育てる手法）を依頼され、マリー・ホール・エッツの“もりのなか”という絵本で実施。登場する動物のカードをひかせ、その登場順や持ち物を答えさせたり、実際に絵本の中の遊びをしたりしながら本に入り込む楽しさを友達と共有させた。



最初に読み聞かせ



ここで問題です！

持ち物はなにかな？



順番はあっているかな？



本と同じに“ロンドン橋おちた”

1月

寄贈本選書・受入・登録・配架

2月

2日本宮市図書館協議会視察研修対応

*企画・図書室クイズ

《実施期間 2月15日～26日》

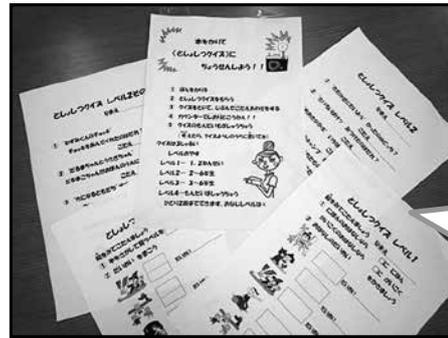
3月

卒業生へおすすめ本リスト作成

年間多読賞表彰

選書について

4校の先生方と相談し、児童からもリクエストをとり選書の参考とした。杉並文庫を6月から7月に、市図書費を9月から11月にかけて選書・購入・登録・配架した。



本を読んでいないと答えられない図書室クイズ頑張ってたんで答えていました。

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・杉並文庫の選書アドバイス(本の分類確認)および発注処理
- ・市図書費の選書アドバイス(本の分類確認)および発注処理

6 学校図書館利用実績 (平成27年4月～平成28年2月)

(1-1) 小高小年間貸出冊数

① 個人貸出冊数 (昨年度比は一人当たり)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総合計
年間合計	776	649	661	621	1494	668	4869
一人あたり	97.0	92.7	47.2	51.8	106.7	44.5	69.6
昨年度比	158%	326%	89%	59%	352%	108%	142%

※① 1人2冊1週間の貸出 (長期休暇は1人3冊)

② 学級文庫貸出冊数

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	総合計
学年合計	156	141	142	86	100	101	726
昨年度比	77%	64%	108%	60%	53%	64%	70%

※② 年度初めの文庫設置内容見直しの為昨年度より冊数減

③ 調べ学習等貸出冊数

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	総合計
学年合計	42	67	46	36	74	38	303
昨年度比	81%	85%	460%	49%	168%	119%	105%

(1-2) 福浦・金房・鳩原小年間貸出冊数

① 個人貸出冊数 (昨年度比は一人当たり)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総合計
年間合計	256	301	619	453	565	747	2941
一人あたり	32.0	75.3	88.4	41.2	33.2	43.9	46.0
昨年度比	52%	177%	186%	119%	79%	114%	111%

※① 1人2冊1週間の貸出 (長期休暇は1人3冊)

② 学級文庫貸出冊数

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	総合計
学年合計	52	53	66	96	60	71	398
昨年度比	186%	123%	150%	133%	176%	101%	137%

③ 調べ学習等貸出冊数

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	総合計
学年合計	0	14	0	0	13	79	106
昨年度比	0%	93%	0%	0%	130%	120%	85%

(2) 学校図書館利用実績比較

昨年度の学校図書館の利用実績と比較すると次の表となる。(表1)

また、児童数が昨年度より約14%減っているため、一人当たりの利用実績比較表を表2とした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
26年度	1072	761	683	894	284	879	985	754	981	856	746
27年度	1497	690	1068	861	323	811	955	1107	1007	684	968

表1

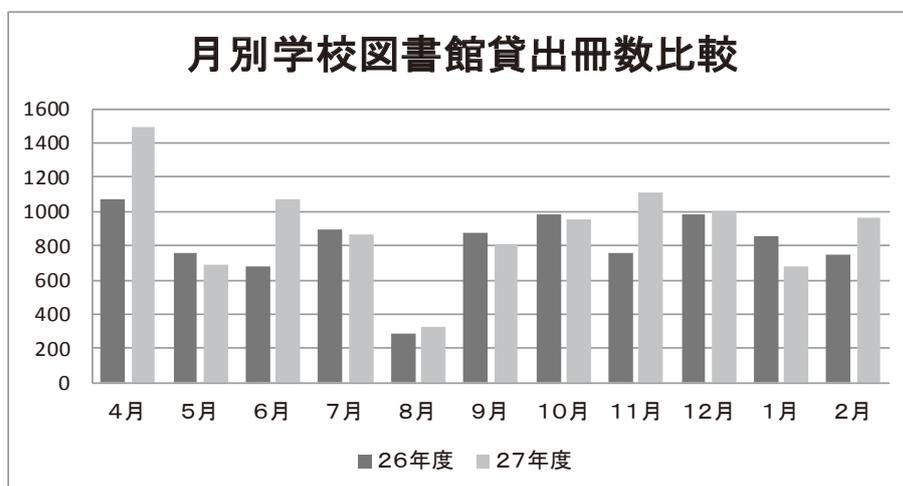
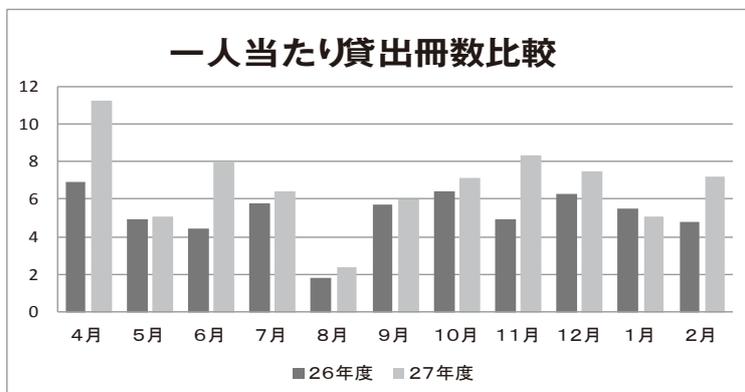


表2 月別一人当たり貸出冊数の比較（職員貸出を含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
26年度	6.9	4.9	4.4	5.8	1.8	5.7	6.4	4.9	6.3	5.5	4.8
27年度	11.2	5.1	8	6.4	2.4	6	7.1	8.3	7.5	5.1	7.2

表2



例年5，6，11月に落ち込みが見られたが、今年度は4月、6月、11月と大きな企画を実施したため、貸出数は大幅に増加した。

また、他の月も企画中に読んだ本の続編を読む等利用が増加した。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

課題としていた利用格差であるが、6月の読書ビンゴ、11月の読書ポイント等の企画により、読書意欲を高めることができた。読書意欲の低い児童が友人に誘われ来館し、借りる姿がみられた。12月末には100冊以上読破児童が9名に達し、うち5年児童1名は300冊に至った。

また、支援員の利用について先生方に周知され、資料の貸借依頼はもちろん、ブックトークの依頼や、単元とのコラボ企画等の連携、授業への参加も増えた。児童の意識も『今日は何を読んでもくれるの?』に加え、『どんな本を紹介してくれるの?本にはどんな使い方があるの?』へと変化してきた。

(2) 来年度に向けた課題

来年度から4校が合同で授業を受ける事となり、4校の学校方針の摺り合わせが行われる。先生方と相談して対処していく必要がある。

また、昨年度小高小4年（現5年）、本年度3校5年で百科事典学習を実施し、その後の調べ学習時に戸惑う事が少なくなったようであるが、資料の選択においての課題が残る。来年度も調べ学習の基礎づくり続行が課題となる。